

前章の「大切にすべき食の資源」や「食にまつわる解決すべき課題」から、シティプロモーション、シビックプライドの醸成へのアプローチを考慮した事業を導き出し、11事業に絞り込み、「地域経済の活性化」「食育・健康増進の推進」「情報の共有と発信」の3つの分野に整理します。

	分野		事業名	担当部署
1	地域経済の活性化	1	学校給食での地元食材の利用促進	学校給食センター、農政課
		2	市民への地元食材の利用促進	シティセールス課、水産商工課、農政課
		3	生産者の育成・確保と新規参入の支援	水産商工課、農政課
		4	付加価値向上、販路開拓等の支援	シティセールス課、水産商工課
		5	地元食材のブランディング	シティセールス課、農政課
2	食育・健康増進の推進	6	子どもたちへの教育	社会教育課、学校教育課
		7	高校連携プログラム	シティセールス課、水産商工課、農政課
		8	食の職育プログラム	学校教育課、社会教育課、水産商工課
		9	健康増進に向けた普及啓発	健康増進課、子どもみらい課
3	情報の共有と発信	10	食のまちのイメージ共有	シティセールス課、企画政策課
		11	食の楽しみ方開発と定期的な情報発信(SNS、ブログ等)	シティセールス課、企画政策課、水産商工課、農政課

### 1. 学校給食での地元食材の利用促進

市内の学校給食の地産地消率の向上を目指し、地域の生産者、市役所担当課等と連携した仕入れや補助制度の導入、期間限定の地元食材の利用など利用促進に向けた組織体制などを関係各所と検討していきます。納入量や価格、サイズ感、納品方法などの課題への解決策を探り、学校給食での地元食材の利用を増やします。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消率の向上にむけた検討委員会の実施</li> <li>地元食材利用週間など、実験的な地元食材利用の開始</li> <li>地産地消率の向上</li> </ul>
担当部署	学校給食センター、農政課

### 2. 市民への地元食材の利用促進

スーパーや直売所など、市民が日常的に買い物を行う場所で、ポスターやポップなどを活用した地元食材の利用を促すPRを行い、地元食材の利用意識を高めます。食のまちPRパートナーと連携し、市民と協働したプロモーションも検討していきます。

求められる成果	・物産館やSNSなどを通じた地元食材の利用を促す広告
担当部署	シティセールス課、水産商工課、農政課

### 3. 生産者の育成・確保と新規参入の支援

農業・漁業の担い手の確保を目指します。主にリクルートに活用できる広報素材(パンフレットなど)の作成を行い、水産系の教育機関などの関係者に対して周知します。そのほか、国や県、市の補助制度などを紹介し、新規参入を検討する人たちにもリーチしていきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業を伝える広報素材の作成</li> <li>教育機関等への広報活動</li> <li>新規就労者の増加</li> </ul>
担当部署	水産商工課、農政課

### 4. 付加価値向上、販路開拓(海外、EC、新規出店)等の支援

地域内事業者の売上の増加を目指し、ECサイトの利用や海外への販路開拓、新規出店などの支援を行います。既存の商品に対する付加価値向上なども促していきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECサイト利用の促進</li> <li>海外等への販路開拓の支援</li> <li>新規の飲食事業に対する補助</li> </ul>
担当部署	シティセールス課、水産商工課

## 5. 地元食材のブランディング

サワーポメロをはじめとした地元食材のブランディングを行なっていきます。ブランド認定や品評会の開催など、地元食材の品質向上、信頼性の確保に向けて実施します。ブランド認知のための広報PRや生産者のトークイベント等も実施していきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サワーポメロ等の品評会の実施</li> <li>・ブランド認知のための広報PR活動</li> </ul>
担当部署	シティセールス課、農政課

## 6. 子どもたちへの教育

家庭科、総合的な探求の時間などを活用し、未来の担い手となる子どもたちに食の重要さや地域の食に関する知識を提供していきます。その他、生涯学習講座の一環とした食の体験メニューなども実施します。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場での食育に関する授業</li> <li>・生涯学習講座での食にまつわる体験メニューの実施</li> </ul>
担当部署	社会教育課、学校教育課

## 7. 高校連携プログラム

市内の高校と商品開発等の体験学習プログラムを実施します。高校生との食関連プロジェクトを取りまとめて周知していきます。

求められる成果	・高校生との商品開発プログラム
担当部署	シティセールス課、水産商工課、農政課

## 8. 食の職育プログラム

学校現場において食に関する市内の職業を周知します。子供ハローワーク事業などとの連携も行い、将来の職業選択の候補として食に関する職業を伝え、キャリア教育と結びつけながら、地域内事業者への就業にもつなげていきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場での食に関する職業の周知</li> <li>・子供ハローワーク事業の実施</li> </ul>
担当部署	学校教育課、社会教育課、水産商工課

## 9. 健康増進に向けた普及啓発

生活習慣病予防(高血圧・糖尿病・慢性腎臓病(CKD)等)、減塩対策、肥満対策等の普及啓発を行います。EAT de 健康メニューの周知やポップの掲示、生涯学習講座との連携などを実施し、市民の健康的な生活につなげます。子どもへの食事に関する情報なども広報誌や子育て応援ナビ、母子健康手帳などを通して周知していきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EAT de 健康メニューの参加店舗の増加</li> <li>・健康にまつわる情報発信(適宜)</li> </ul>
担当部署	健康増進課、子どもみらい課

## 10. 食のまちのイメージ共有

「食のまち」を伝えるためのイメージ動画、シンボルマークやキャッチコピーを作成し、周知していきます。イメージ動画では、マグロ漁業、果樹栽培、焼酎製造、水産加工などの産業認知などにつなげていきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ動画の作成</li> <li>・シンボルマーク、キャッチコピー等の作成</li> </ul>
担当部署	シティセールス課、企画政策課

## 11. 食の楽しみ方開発と定期的な情報発信(SNS、ブログ等)

食に関する地域の取組や地元の食の魅力を掘り起こし、本市の食を楽しむコンテンツも開発して発信する媒体を作成します。地元の食と良いロケーション、それに深く関わる人などをつなげて発信することで、食材と場所の認知につなげていきます。食のまちPRパートナーと連携し、市民と協働したプロモーションも検討していきます。

求められる成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を活用した定期的な情報発信</li> <li>・年12本程度の取材記事の作成</li> </ul>
担当部署	シティセールス課、企画政策課、水産商工課、農政課

先行して実施することで、高い効果を得る事業をリーディングプロジェクトとして設定し、積極的な事業実施を行います。

### (1) 高校連携プログラム

### (2) 地元食材のブランディング

### (3) 食の楽しみ方開発と定期的な情報発信